

ネイチャーセンターだより

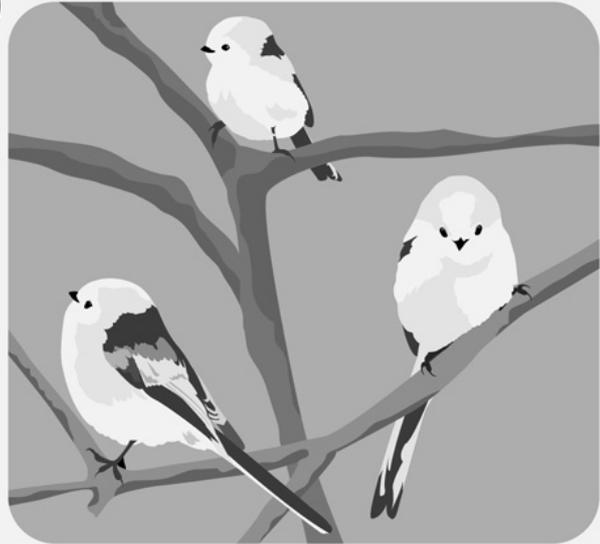
エナガ(シマエナガ)

Long-tailed Tit

尾羽が長いことから、柄長(えなが)と呼ばれる小鳥です。本州に住んでいるものは、目の上に眉毛のような黒い線があるのですが、北海道に住んでいるエナガは雪だるまのように真っ白なので、少し区別されて、亜種シマエナガと呼ばれています。

亜種とは、同じ種類の中でも、違う地域で繁殖するなどして体の色や形などの特徴が少し違うグループのことです。

センターの横の自然学習林にはエナガの他にもカケスやゴジュウカラなどが見られますが、これらも本州のものとは少し色が違い、北海道で見られる亜種なのです。



12・1月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

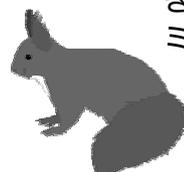
ワシウォッチング

日時 1月28日(日) 8:00~10:30
対象 どなたでも 20名
(小学生は保護者同伴)
申込 1月25日まで
参加費 1000円/1人(保険・資料代として)
概要 冬の寒さに静まりかえったような風蓮湖周辺。そこには、数百にも及ぶワシの群れが訪れます。世界で最も美しいと言われるオオワシを見に行きませんか。



エサ台 展示

日時 随時実施中
対象 エサ台は雪解けの春まで設置
どなたでも
概要 ネイチャーセンターの前に、ヒマワリの種などをエサ台に置いています。そこには、ゴジュウカラなどのカラ類やアカゲラ・コゲラなどのキツツキ類がやってきます。時々、エゾリスやエゾヤチネズミなどの哺乳類も顔を見せます。



フィールドボランティアの活動報告



風蓮湖・春国岱フィールド講座

「知ろう 見よう オオハクチョウ」 11 / 3

1993年に、ラムサール条約登録湿地となった厚岸町の「厚岸湖・別寒辺牛湿原」。国内有数の原生的な自然が残された湿原で、全体の面積は約8,300haにのぼります。そのうち4,896haが指定され、昨年11月に日本野鳥の会が野鳥保護区に指定している381haの湿原が新たに加わり、5,277haが登録湿地となっています。ここには、環境省が設置し、厚岸町が運営する厚岸水鳥観察館があります。

今回の講座では、厚岸水鳥観察館の観察専門員の澁谷辰生氏にお越しいただいて、熱く語っていただきました。

まずは、ハクチョウの基本的な分類や生態について話していただき、成鳥と幼鳥の違いやハクチョウ類は大型であるが生態系の中ではそんなに高い位置ではないこと。また、渡り鳥であるオオハクチョウの繁殖地の環境や渡りのルートについても教わりました。

その次に、厚岸湖での実際にオオハクチョウの調査を行ってきただけのお話をしていただきました。調査方法は丘の上から厚岸湖を一望できるためそこで調査をしています。風蓮湖の場合は、エリアが広く、車で周り一日がかりであることの違いを感じました。しかし、つながりがあることもわかり今後同時期に調査をすると面白いのではないかと思います。



講師：澁谷 辰生氏
厚岸水鳥観察館 観察専門員



最後に、人間の生物観と生物多様性の保全という題で、オオハクチョウなどの野生生物に対する餌付けの問題などについて、厚岸町で起こったオオハクチョウの大量死の時の行政の取り組みを例にお話いただきました。

午後からは、講師とともに風蓮湖に出かけ、オオハクチョウなどの観察をしました。お話を思い出し、風蓮湖では餌付けが行われず、自然の状態のままでオオハクチョウやカモ類をたくさん観察できることをあらためて感じました。

オオハクチョウ カウント調査 10/21・28 11/5・11

10月11日にオオハクチョウの今シーズン初渡来が確認され、その後どんどん増えてきました。今年は、フィールドボランティアのみなさんと風蓮湖をまわり、どのくらいのオオハクチョウが渡来してきているのか一緒にカウント調査しました。少ない数だと誤差なく数えられるのですが、200羽を越えると数字が合わなくなってきました。しかし、他のカモ類なども観察し、風蓮湖にやってくる渡り鳥の多さを感じました。

オオハクチョウ渡来数カウント調査 11月5日現在



3,789羽



230羽



あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。ラムサール条約登録湿地で活動してみませんか？ご興味のある方はネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。どんな活動をしているか見てみたい方は、事前に電話で連絡いただければ活動日を案内します。

自然情報 * 12月 *



海からの冷たい風が吹き、雪が降るようになります。
暖かい服装をして歩いてください。



オオワシ

白と黒のコントラストが美しいオオワシが、やってきます！
オオワシ・オジロワシがもっとも多くなるのは2月中旬です。
1月にはワシを観察するイベントもあります！



積雪や氷っている場所がありますので
足元にご注意ください。

海ガモの仲間

オホーツクの海の上を望遠鏡で探してみるとコオリガモやクロガモホオジロガモなどの海ガモの仲間が見られます。



オオハクチョウ

風蓮湖でオオハクチョウが羽を休めています。
冬は風蓮湖が全面結氷してしまうので、湖が凍る前にさらに南へと渡っていきます。



カラ・ケラ

自然学習林の樹の葉が落ち、見通しがよくなります。シジュウカラやアカゲラなど、カラとケラ（キツツキ）の仲間を見つけやすくなります。



ハマシギ

海岸では、ハマシギの群れがちょこちょこ走っているのが見られます。ここで冬を越すものもいます。



エゾシカ

雄には立派な角が生えています。センターのすぐ近くで見られることも。この周辺は道路へ飛び出してくることもあるので運転には注意してください。



センターでは双眼鏡の無料貸出をしています
どうぞお気軽にご利用ください



ネイチャーセンター日記

11月16日の夜、根室に津波警報が発令されました。千島列島で地震があったようなのですが、根室では揺れなどは感じられなかったもので、津波と言われても最初はピンと来ませんでした。TV報道や注意を促しながら走っている広報車の音を聞いてやっと実感しました。

10月には暴風雨が通過して倒木などの被害があったこともあり、もし大きな津波が来たら春国岱はどうなってしまうのだろうと心配しましたが、花咲港で最大波40cmを記録したものの、被害が無くて良かったです。

春国岱の地盤が沈下しているという調査結果がありますが、これは地球のプレートの動きによるものとの考えもあります。私たちが見ることができない地面の下でいろいろな自然現象が起きているのですね。



メール配信のお願い

郵送費削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

~ 雑学クイズ ~

今月の表紙のエナガ。
北海道に住む亜種シマエナガの
シマって何のことでしょう？

しましま模様
羽にしま模様があるから

島という意味
北海道という島にいるから

発見者の名前
シマさんが名前をつけたから

答えは右側

シマフクロウとかシマアオジとい
う鳥もいるね。同じ意味だよ。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

12月の開館時間 9:00~16:30(3月まではこの時間で開館)

12月の休館日 12/6・13・20・25・27・30・31(1/5まで休館です)



2006.12 発行

クイズの答えは...